

# 第 11 期（2020 年度）日本図書館協会認定司書審査会第 1 回議事録

2020 年 7 月 18 日（土）

14:00～16:04

公益社団法人日本図書館協会

審査会委員 6 名出席、事業委員会委員 7 名陪席

## 配布資料

- 資料 1 日本図書館協会認定司書審査会、日本図書館協会認定司書事業委員会
- 資料 2 第 10 期（2020 年度）日本図書館協会認定司書審査会第 2 回議事録（案）（公開用記録）
- 資料 2 参考資料 同（案）（委員会事務用記録）
- 資料 3 認定司書事業委員会規程
- 資料 4 日本図書館協会認定司書審査要領
- 資料 5 日本図書館協会認定司書の審査に関する申し合わせ
- 資料 6 第 10 期（2020 年度）認定司書名簿及び審査（報告）
- 資料 7 第 11 期 日本図書館協会認定司書事業スケジュール
- 資料 8-1 申請書類一式 新規用
- 資料 8-2 申請書類一式 更新用
- 資料 9 第 11 期第 2 回認定司書審査会の実施について

## 1 認定司書審査会長あいさつ

## 2 認定司書審査会委員の紹介（資料 1）

審査会委員は前年度から引き続き。次の 6 名。

- 糸賀 雅児 審査会長
- 秋本 敏 委員
- 内野 安彦 委員
- 大谷 康晴 委員
- 呑海 沙織 委員
- 鏈水三千男 委員

内野委員、鏈水委員の所属に変更あり。

内野委員：同志社大学大学院嘱託講師（前：立教大学等非常勤講師）

鏈水委員：千葉県市町村公平委員会苦情相談員（前：千葉県市町村総合事務組合法務専門員）

## 3 認定司書事業委員会委員の紹介（資料 1）

新たに長谷川拓哉委員（ゆうき図書館、認定司書第 1140 号）、三浦なつみ委員（墨田区立緑図書館、認定司書第 1154 号）、青野正太委員（東京都立多摩図書館）の 3 名が事業委員として加わった。

## 4 第 10 期認定司書審査会(第 2 回) 議事録の確認（資料 2）

公開用議事録、委員会事務用記録を提示。特に、委員会事務用記録の委員の発言についてご確認いただいた。

## 5 規程類について（資料3、4、5）

資料3は協会理事会の承認が必要な規程、資料4～5は事業委員会で決定する規程となっている。

## 6 報告事項

### (1) 第10期（2020年度）認定司書名簿及び審査（報告）（資料6）

図書館雑誌2020年5月号に掲載。主な変更点は、事業委員会・審査会連名で出した点。記事の締切時点で、新型コロナウイルス感染症の動向から、代議員総会も中止が濃厚であったなど、表彰式を行うのが難しい状況にあったため、本記事で表彰式の中止を明言した。

### (2) 認定証交付式および懇親会の中止(6月11日予定)

図書館雑誌2020年5月号に記述したとおり、残念ながら中止とした。

### (3) その他

#### 【記事掲載】

岩手日報に掲載された。

- 「本の輪広げ認定司書に 県内初の資格取得、種市図書館の平さん」『岩手日報』2020年7月17日 <https://www.iwate-np.co.jp/article/2020/7/17/81666>

#### 【研修等実施状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、協会の研修事業、催し物の中止や縮小が相次いでいる。2020年度中堅職員ステップアップ研修(1)及び(2)、2020年児童図書館員養成専門講座は中止となった。全国図書館大会もオンライン録画配信となる。短期的に見ると認定者減等につながるか。
- ・図書館司書専門講座（文部科学省）は、10日間から5日間に短縮での実施となる。時期も6月から9月に変更された。当該講座で大谷委員が講師を行うことから、認定司書の宣伝をする予定。
- ・図書館総合展はオンライン開催に変更。ポスターセッションに出していたが、オンラインポスターセッションの参加は広報の効果的に小さいと思われ、見合わせたいと思っている。

## 7 協議事項

### 議案1 第11期認定司書事業スケジュール

（申請受付、審査料及び認定料の納付期限、第2回審査会、その他）（資料7）

#### ○第11期認定審査について

大谷審査会委員・事業委員長から今期審査の方法について、提案あり。（資料9、後日送付）

#### 【認定司書事業の実施について】

- ・新型コロナウイルス感染症の動向は思わしくないが、今期も認定司書の審査事業は維持したい。第1期が今年で満10年であり、認定司書を継続するためには

更新が不可欠であるため。

- ・第2回の審査会について、今後の感染動向が不透明であること、書類の手渡しや、長時間同じ部屋に留まるといった状況から、コロナ感染対策を講じるのに限界があり、従来の方法では難しいと考えている。感染予防と情報セキュリティを最大限考慮した結果、オンライン及び書面による実施としたい。

#### 【申請の方法】

- ・申請書類を全面的に電子ファイルに切り替える。申請書、履歴書、研修受講等記録票は電子ファイルで作成、提出してもらう。司書資格取得証明や研修受講の証憑類はPDF化し、データを提出する。証憑類のPDF化は、今日コンビニのマルチコピー機でも行えるようになっている。事業委員会の方で、情報提供等を行い、申請者が戸惑わないようにする。

#### 【審査手続】

- ・紙媒体の審査書類を審査会委員宛郵送する。審査会委員には、書類を確認し審査していただいた上で、漏れなくご返送いただく。
- ・第2回審査会は協議・判定を中心にZoom等のWeb会議システムで実施する。関係ない者を会議に参加させない仕組みも設けられているので、活用するなどして、セキュリティに最大限配慮して実施する。
- ・事業委員による審査資料の作成も、感染リスクがないよう工夫する。

#### ○第11期 日本図書館協会認定司書事業委員会スケジュール（資料）

- ・12月上旬に受付作業を行う。
- ・入金原則として年内に行ってもらえることになるが、審査前に振り込んでもらう手もあるか。
- ・来年1/9（土）に第2回審査会を開催したい。年明けすぐであるし、ご多忙の時期と思うが、新共通テストの関係もありここにせざるを得ない。
- ・1月中に審査結果通知。異議申し立ては3/1（月）に受理する。異議が受理された場合も、認定日は2021年4月1日付となる。番号は最後にする。認定証交付式は6月10日（木）としたい。

#### 議案2 申請書類の書式について（資料8-1、8-2）

- ・現在の書式は、印刷して記入するのが前提の資料になってしまっている。もう少しシンプルなものに変更する必要があるため、形式等は大幅な変更が生じる可能性がある。
- ・事項や記入する項目に関しては大きな変更はない。

#### 8 その他

##### (1) 認定司書制度にかかわる広報について

- ・認定司書チラシを画面共有で説明。大谷事業委員長から、呑海先生の所属について確認。筑波大学附属図書館副館長とした。
- ・裏面のご所属は、今日のご紹介を受けて変更する。（内野委員、鎌水委員）
- ・図書館司書専門講座で大谷委員から配布する。

(2) その他

**【認定司書オリジナル論文発表の機会】**

- オリジナル論文の提出による認定が多い旨、報告にもあった。このオリジナル論文を発表する機会を設けられないだろうか。面白い論文を書いている、外に出ないことが非常にもったいない。より多くの人に見てもらえる仕組みづくりを。
- 審査会委員の確認の結果、優れた論文があった場合、ご本人に公開を働きかけるよう促すことを検討する。